

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 フォレストア島海			電話番号	0184-58-2888				
所在地	秋田県由利本荘市島海町猿倉字奥山前8番地45			FAX番号	0184-58-2333				
設立年月日	平成8年2月20日			HPアドレス	http://foresta-chokai.com/				
2 資本金	215,000千円	市出資金	120,000千円	市出資割合	55.8 %				
3 事業内容	1. 秋田県営島海観光宿泊センターの管理運営(フォレストア島海) 2. 上記に関する一切の事業								
4 財務状況(平成29年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	62,121	51,166	45,998		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	213,678	216,446	206,380
	負債	32,192	29,846	30,409		(内市からの補助金・指定管理料)	0	0	20,000
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 15,262	△ 7,546	△ 24,362
	純資産	29,929	21,320	15,589		当期純利益	△ 16,141	△ 8,609	△ 5,731
	利益剰余金	△ 185,071	△ 193,680	△ 199,411		減価償却前当期利益	△ 14,166	△ 7,412	△ 5,103
5 役職員の状況(平成29年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		8 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		19 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成29年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	0	0	20,000	第三セクター運営費補助金					
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小 計	0	0	20,000						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小 計	0	0	0						
合 計	0	0	20,000						
【参考】指定管理料(税込)									
	0	0	0						
(2) その他(平成29年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合 計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第22期決算報告書(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 2 期)

自 平成 2 8 年 4 月 1 日
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

株式会社 フォレスタ鳥海

由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前 8 番地 4 5

電話 0 1 8 4 - 5 8 - 2 8 8 8

報告第1号

第22期事業報告書

(自平成28年4月1日～至平成29年3月31日)

営業の経過

県内経済の概況は、一部に持ち直しの動きがみられるが、総じて足踏み状態が続いているとの判断がされる中での事業となりました。

当期総売上184,631千円、当期損益-5,730千円、四半期別比較は下記の通りです。

売上比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
27年度	49,883	74,430	54,435	27,360	206,108
28年度	38,507	63,793	54,653	27,678	184,631
比 較	-11,376	-10,637	218	318	-21,477

損益比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
27年度	-1,524	14,329	-7,706	-13,708	-8,609
28年度	-9,578	8,040	-7,589	3,397	-5,730
比 較	-8,054	-6,289	117	17,105	2,879

宿泊者数比較 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
27年度	3,081	4,795	3,271	1,930	13,077
28年度	2,235	3,930	3,540	1,916	11,621
比 較	-846	-865	269	-14	-1,456

第1四半期においては、総売上38,507千円、前年比11,376千円減。宿泊利用者数2,235名、前年比846名減。損益-9,578千円、前年比8,054千円減となり大幅な減収減益となりました。地域別宿泊状況は、県内利用1,057名(前年比371名減)、県外利用1,168名(前年比475名減)となり、前期の増加分とほぼ同数の大幅な減となりました。宿泊利用者減の主な要因はエージェンツ送客の減、宿泊宴会の減、ネット予約の減となっております。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比7%減、レストラン利用者数で26%減となっております。販売管理費においては前年比3,707千円減となっており、人員減による人件費の

減と販売促進費の減が主な要因です。なお6月24日には、第21期定時株主総会を開催しております。

第2四半期においては、総売上63,793千円、前年比10,637千円減。宿泊利用者数3,930名、前年比865名減。損益8,040千円、前年比6,289千円減の結果となり第1四半期に続き大幅な減収減益となりました。地域別宿泊利用状況は県内利用954名（前年比204名減）、県外利用2,976名（前年比661名減）で推移しております。当四半期においても宿泊利用者の大幅な減が減収の要因であり、エージェント送客の減（前年比102名減）もありましたが、県内県外とも個人利用が大きく落ち込んでおり、予約受け入れ先のネット予約が前年比642名減となっております。なお、昨年度大きく落ち込んだ宴会売上は前年比37%増となっております。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比10%減、レストラン利用者数で10%減となっております。販売管理費においては前年比5,474千円減となっております。

第3四半期においては、総売上54,653千円、前年比218千円増。宿泊利用者数3,540名、前年比269名増。損益においては-7,589千円、前年比117千円増の結果となりました。地域別宿泊状況は県内利用1,084名（前年比161名減）、県外利用2,456名（前年比430名増）となっております。当四半期においては、10月のエージェント送客の減と10月・11月の宴会売上が例年を下回り、売上を伸ばす事ができませんでした。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比3%減、レストラン利用者数で2%減となっております。販売管理費においては前年比1,160千円減となりましたが10月・11月は前年より掛かり増しとなっております。要因としては販売促進費の増や燃料代の増等があげられます。なお、当四半期においては、鳥海ダム調査関連の宿泊利用403名を得ております。

第4四半期においては、総売上27,678千円、前年比318千円増。宿泊利用者数1,916名、前年比14名減。損益においては3,397千円、前年比17,105千円増となりました。地域別宿泊利用状況は県内利用972名（前年比185名減）、県外利用944名（前年比171名増）で推移しております。当四半期においては由利本荘市よりグリーンライン通行止め等による売上減に対しての補助金2,000万円を助成していただきました。また、秋田県のご支援により大浴場天井の改修工事をしていただいております。その際、22日間の入浴利用の休業となりましたが、エージェント送客（インバウンド含む）が好調だったことにより、前年並みの売上をあげることができました。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比33%減、レストラン利用者数で1%増となっております。販売管理費においては、前年比2,275千円増となっており、主な要因として燃料代・水道光熱費の増と販売促進費の

増があげられます。

当期総売上184,631千円、前年比21,477千円減。売上原価53,094千円、前年比5,209千円減。販売管理費157,598千円、前年比8,062千円減。当期損益－5,730千円、前年比2,879千円増。宿泊利用者数11,621名、前年比1,456名減（内、県内利用921名減、県外利用535名減）の結果となり大きな減収損益となりました。

当期においては、エージェントを含めた団体宿泊利用は前年とほぼ同数でしたが、個人宿泊利用が大きな減少となりました。その予約受け入れ先のネット予約が前年比で約1,000名減となっており、早急な対応に迫られております。

来期においては、ねんりんピック等数多くのイベントが控えており、宿泊利用の促進に努める所存です。また、今期苦戦したネット予約関連については、ネットエージェントも含め販売促進に努め、県内宿泊利用を促進させるための企業訪問等を強化して行きます。インバウンド誘致につきましては新たにタイ王国からの予約も入っており、台湾・韓国と並び誘致に努めます。

29年度からは懸案となっているグリーンラインの復旧工事が始まると伺っております。今後においても由利本荘市並びに秋田県、関係諸機関と連携をとりながら事業を進めてまいりますので、役員の皆様、株主の皆様、行政諸機関にはさらなるご指導ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

貸 借 対 照 表

平成29年 3月31日 現在

株式会社 フォレスト鳥海

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	44,780,666	【流動負債】	30,409,000
現 金 ・ 預 金 合 計	30,774,545	買 掛 金	3,537,405
売 掛 金	2,388,124	未 払 金	24,728,725
商 品	6,630,013	前 受 金	106,890
貯 蔵 品	3,796,011	預 り 金	1,050,580
前 払 費 用	48,470	未 払 法 人 税 等	985,400
未 収 入 金	792,873	負 債 の 部 合 計	30,409,000
立 替 金	102,430	純 資 産 の 部	
未 収 法 人 税	7,300	【株主資本】	15,589,255
未 収 消 費 税	240,900	資 本 金	215,000,000
【固定資産】	1,217,589	利 益 剰 余 金	-199,410,745
【有形固定資産】	377,229	そ の 他 利 益 剰 余 金	-199,410,745
建 物	2,318,300	繰 越 利 益 剰 余 金	-199,410,745
建 物 附 属 設 備	321,000	(うち当期純損失金額)	5,730,735
構 築 物	1,839,056		
車 両 運 搬 具	26,267,619		
工 具 器 具 備 品	9,854,963		
減 価 償 却 累 計 額	-40,223,709		
【無形固定資産】	728,000		
電 話 加 入 権	728,000		
【投資その他の資産】	112,360		
長 期 前 払 費 用	8,100		
保 証 金	50,000		
預 託 金	54,260	純 資 産 の 部 合 計	15,589,255
資 産 の 部 合 計	45,998,255	負 債 及 び 純 資 産 合 計	45,998,255

損 益 計 算 書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

株式会社 フォレスト鳥海

(単位: 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	184,630,804	
売 上 高 合 計		184,630,804
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	7,169,274	
当 期 商 品 仕 入 高	52,554,846	
合 計	59,724,120	
期 末 商 品 棚 卸 高	6,630,013	
売 上 原 価		53,094,107
売 上 総 利 益 金 額		131,536,697
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		157,597,518
営 業 損 失 金 額		26,060,821
【営業外収益】		
受 取 利 息	5,664	
雑 収 入	1,743,120	
営 業 外 収 益 合 計		1,748,784
【営業外費用】		
雑 損 失	49,598	
営 業 外 費 用 合 計		49,598
経 常 損 失 金 額		24,361,635
【特別利益】		
国 庫 補 助 金 等 収 入	20,000,000	
特 別 利 益 合 計		20,000,000
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		4,361,635
法 人 税 及 び 住 民 税		1,369,100
当 期 純 損 失 金 額		5,730,735

平成 29 年度営業計画(案)

営業展開

5月連休以降7月中旬までの期間は、宴会プランの販売とエージェント誘客、ホームページ更新・広告等による宣伝により、団体客・新規の個人客等の誘客とリピーターの増員を目指し、販促を行います。

また、20周年謝恩企画といたしまして、美食会などのイベントを行い、地元の皆様にもフォレストにお越しいただきたいと考えております。

鳥海ダム工事関係者の宿泊も特別なプランを作成し、宿泊利用の増に努めてまいります。

7月下旬より8月にかけては、夏休み中の高校の合宿、県内の夏祭りのエージェント誘客を図り、個人客に向けましてはホームページ等で周辺観光情報等の発信をし、夏休み家族旅行等の誘客と自然散策客等の獲得に努めて参ります。尚、8月に関しましては、生ビール祭りを予定しております。

9月・10月につきましては、秋の行楽向けの宴会プランとねんりんピック参加者への宿泊の販促に努め、併せてエージェントによるツアー客への販売促進にも努めて参ります。

11月・12月は、忘新年会プランと個人客向けの冬期優待券の販促に努め、新規客の掘起しと冬期優待券の利用率を上げるよう努力いたします。昨年好評をいただきましたクラブツーリズムの連泊プランも進めてまいります。また、今年の種苗交換会は、由利本荘市での開催になっており、それに伴う宿泊客の獲得を目指します。

1月～3月におきましては、一人でも多くの宿泊客獲得のため、平日限定連泊プランの販売や湯治パック・スキーパックの販売を中心に販促を図り、併せて冬期優待券による利用増も図ります。また、雪を利用した宿泊客向けのサービス(例:雪上車体験等)を行い、雪をプラスにできるよう考えて参りたいと存じます。

本年度のエージェント企画に関しましては、5月～10月の間に昨年度よりも多い15社以上の予定が入っております。(中には催行決定でのご予約も有)その内、1本でも1人でも多く催行していただけるよう情報・企画の発信に努めて参ります。

ご高齢の方の人口も増加しており、年間を通してより一層シルバー世代の獲得に力を入れていく必要があります。また、口コミこそが最大の宣伝力という事を心に留め、一人一人のお客様を大切にし、皆様が気持ち良くフォレストを出発していただきますよう努めて参ります。

以上の事を踏まえまして、平成29年度売上目標額を 20,000 万円とし、それを上回るよう努力して参ります。

